

第3回長野県支部 CPD講習会 (実施報告)

「山村・・野生の脅威からくらしを守る」

日 時 平成25年11月16日 (土) 14時00分～16:00
講 師 松本市農林部職員 農政課 伊藤技術員 耕地林務課 八田主査
会 場 松本市役所四賀支所 会議室
主 催 公益社団法人日本技術士会長野県支部中信ブロック
参加者 会員 14名 非会員 1名

I 講義及び現場見学

テーマ1 野生鳥獣から田畑を守る

松本市では、里に下りて田畑を荒らす有害鳥獣対策として、里の外周に沿って延長18.5kmの熊鹿防護柵設置を計画し、平成25年度末で16.4km(89%)が完了する。この長野県内でも先駆的な取り組みについて、その実施方法及び効果と課題について研修した。



テーマ2 松くい虫から山を守る

また、四賀地区は、松茸の産地として名を馳せているが、近年、松くい虫の被害拡大が深刻な状況となっている。今年度から、ラジコンヘリによる薬剤散布に着手した。その状況と期待される効果と課題について研修した。



II 担当者後記

本講座は、松本市の出前講座を活用して行った。開催に向けて、担当者との交渉の中で、本来出前講座は平日を基本とするものであったが、無理を聞いていただき、休日開催することができた。松本市農林部のご厚意に心から感謝する。(牧垣)